

特別支援学級 道徳科学習指導案

1. 主題名 「自分発見！！」

2. 教材名 「個性ハッケン！」

(出典：ポプラ社「個性ハッケン！50人が語る長所・短所」改作)

A 【個性の伸長】

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値や指導内容について

本主題で中心となる道徳的価値は、学習指導要領のA—4「自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと」である。個性とは、個人特有の特徴や性格であると言われている。個性の伸長は、自分のよさを生かし更にそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。そして、自分らしい生活や生き方について考えを深めていく視点からも、将来にわたって自己実現を果たせるようにするためにも重視されなければならない内容である。

しかし、自分の特徴を受け入れ、よさを伸ばしていくことは容易なことではない。自分のよさに気付くことができなかつたり、他人と比較ばかりして自己を否定的に捉えており、なかなか自分のよさを伸ばすことができなかつたりする。

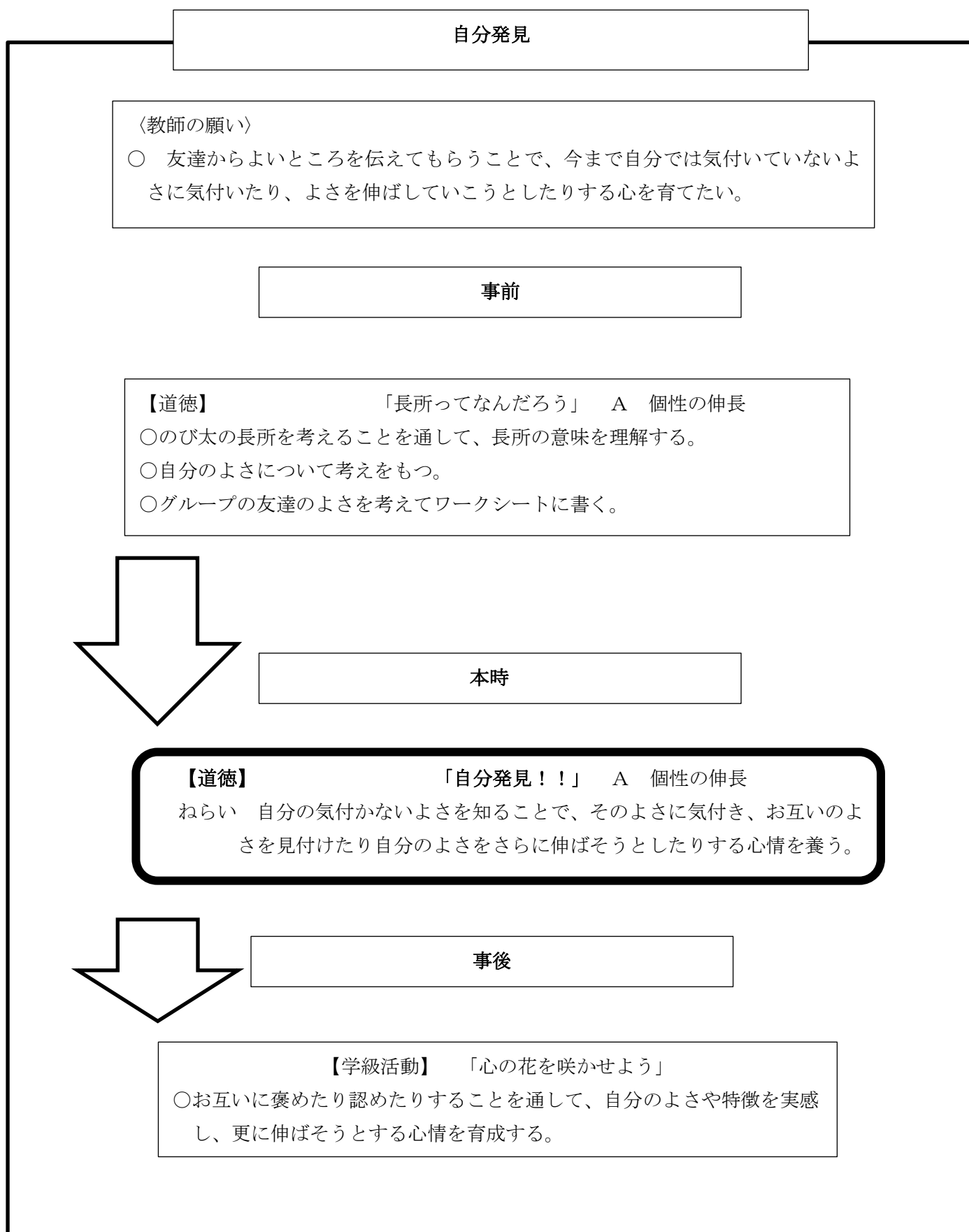
そこで本主題を通して、自分のよさに気付き、発見させることが大切だと考える。本時では、友達とよいところを伝え合うことで、自分自身について多面的・多角的に捉え、本当の自分の特徴を理解し、そのよさを伸ばそうとする心情を養っていきたい。

(2) 教材について

本教材で活用する、「個性ハッケン！」では、パラアスリートの木村さんの長所と短所を、仕事や生き方とともに紹介する教材である。また、自分が知っている長所だけでなく、周りから見たその人のよさについても紹介している。本時では、自分では気がつかない長所を友達から伝えてもらうことで、他にも長所があることに気付かせたい。そこで、互いの良さを伝え合う活動に繋げられるように、周りから見たその人の良さを紹介している文章を中心に教材を改作した。

本時では、パラ水泳選手の木村さんが、自分自身の長所として考えている内容と、同僚の山田さんが木村さんの良いところを紹介している内容を教材とした。パラ水泳選手の木村さんを選んだ理由は、昨年度にパラリンピックの観戦と夢に向かって努力をしている姿をねらいとしたパラスポーツの選手について扱った道徳科の学習から、困難を乗り越えて頑張っている姿が、生徒たちの心に響いていたからである。馴染みのある教材を取り入れることで、生徒達も理解しやすいと考えた。本教材を通して、「自分が気付いてないよさがあるのではないかと、友達の考える自分のよさを聞いてみたい。」という気持ちにさせたい。その上で、展開後段のよいところを伝え合う活動につなげていきたいと考える。

4 指導構想



5. 本時の学習

(1) ねらい

自分の気付かないよさを知ること、お互いのよさを見付けたり自分のよさをさらに伸ばそうとしたりする心情を養う。

(2) 本時の展開

過程	生徒の活動と内容	教師の支援・留意点 支援 (○) 評価 (◇)
導入	1 自分のよさについて考える。 ○ワークシートにつけた自分のよさは何ですか。	○前時に取り組んだ、自分の長所を書いたワークシートを見て思い出す。 T 2 わからない生徒に振り返りを促しながら生徒の思いを聞く。
展開 前段	2 パラ水泳選手の木村さんの動画を視聴する。 そして、木村さんの長所と山田さんから見た木村さんの長所の教材を読み、自分で理解しているよさと周りから見たその人の良さは違って見えることもあることを知る。 ○パラ水泳選手の木村さんのよさと山田さんから見た木村さんのよさは、どうして、ちがうのですか。 ・自分で考えるよさと人が考えるよさは違っているから。 ・人によって見えかたがちがうから。	○パラ水泳選手の木村さんが知っているよさと、同じ職場の山田さんから見た木村さんのよさを伝えている教材を読み聞かせる。 T 2 どこを読んでいるのか、文章を指で示しながら内容を聞かせるようにする。 ○自分で理解しているよさと周りから見たその人のよさは違って見えることもあると確認する。
展開 後段	3 自分のよさについて、友達に聞く ◎自分ではまだ発見できていない他のよさがあるのではないのでしょうか。友達から自分のよさについて聞いてみよう。 ○友達からいいところを教えてもらって嬉しかった言葉をマグネットシートに書きましょう。	○実態から事前に書かせていたカードを本時では読んで伝えることに重点をおく。 ○互いのよさを伝え合う活動を行うことによって、自分では気付けなかった、自分のよさを知ることができるようにする。 T 2 机間巡視をしながら、互いのよさを伝え合う活動の状況を見る。 ○互いのよさを伝え合う活動の中で、自分が嬉しかった言葉をマグネットシートに書き、黒板に掲示することで、一人一人にいいところがあるとことを認識させる。 T 2 悩んでいる生徒がいたら、複数書いてもいいことを伝え、書きやすいように声をかける。

	○自分が気付いているよさをみつけてもらって、どう思いましたか。 ・嬉しい ・自信になる ○これから、友達のよさに気付いたら、どのようにみんなに伝えればいいでしょうか。 ○これからもお互いのよさを見付け合い、今後の自信につなげていきましょう。	○自分の特徴を前向きに捉えるために、友達といいところを褒め合ったりすることで、自己肯定感を高めていく。 ○学習前と学習後の自分の心の変化に気付けるようにする。 ○今後の活動につながるように促す。 ○友達から良さを伝えてもらったことで、自分のよさを発見できたことを確認し、「心の花を咲かせよう」の活動につなげ、これからも友達のいいところを発見できるようにする。
終末	5 本時の振り返り ○自分では気付かなかったよさに気付いてよかった。 ○友達によさを伝えたら喜んでくれて嬉しかった。	○本時で学んだことをこれからの生活に生かせるようにするために、学んだことをワークシートに記述させる。 T2 文章が書くことが難しい生徒に、振り返りの例を示して、自分の気持ち合う振り返りを述べさせる。 ◇自分の気付かないよさを知ることで、そのよさに気づき、お互いのよさを見付けたり自分のよさをさらに伸ばそうとしたりする心情を養う。

6. 板書計画

長所とは ①とくいなこと ②それが好きなこと ③いいことをするとじぶんもほかの
ひともうれしくなる



パラ水泳選手の木村さんのよさと
山田さんから見た木村さんのよさは、
どうして、ちがうのですか。
○自分で考えるよさと人が考えるよさ
は違うから。
○人によってみえかたがちがうから。

自分ではまだ発見できていない他のよさ
があるのではないのでしょうか。友達から自分
のよさについて聞いてみよう。

〇〇

わらわせてくれる

〇〇

すぐ仲良くなれる

〇〇

せきにん感がある

〇〇

ひらめきがすごい

〇〇

おもしろい

〇〇

せいじつな心がある

名前 _____

自分発見！！

じぶんのよさにあたらしいはっけんがありましたか？

5 4 3 2 1

ともだちのよいところをはっけんしていこうとする
きもちになりましたか？

5 4 3 2 1

ほんじのふりかえり
